

特別展示室

文化都市千代田  
—江戸の中心から東京の中心へ—



幕末の千代田区域は、江戸城を囲むように武家地(武家屋敷)・町人地(町屋)・寺社地(神社仏閣)が広がっていました。明治維新後どのように変化し、何を受け継いでいったのか...地域住民の視点から「文化」の面に注目しながら、天保から明治20年代にかけて紹介していきます。

会場: 1階 特別展示室  
期間: 1月17日(火)~3月11日(日)  
平日・土曜10:00~18:00  
日曜・祝日10:00~17:00  
※2月14日(火)は休室、2月20日(月)は休館  
入場料: 無料

▲歌川国利「東京銘勝会 日比谷練兵場官兵式」明治19(1886)年10月

貸出施設のご案内

当館のホール・会議室は、プロジェクターやスクリーンなど、映像機材や音響機器を完備し、千代田区民をはじめどなたにも、低料金でご利用いただくことができます。講演会、会議、発表会、展示会、勉強会など、各種イベントにご利用ください。



		10:00-12:00	13:00-17:00	18:00-22:00
■ 大ホール 207席 (日比谷コンベンションホール)	平日	12,000円	28,000円	30,700円
	土日・祝	15,000円	36,000円	
■ 小ホール 60席 (スタジオプラス)	平日	3,900円	7,300円	10,700円
	土日・祝	3,900円	7,300円	
■ 会議室 各24席 (セミナールームA・B)	平日	2,500円	4,600円	6,600円
	土日・祝	2,500円	4,000円	

※利用時間は搬入・準備・後片付け・搬出を含みます。

※土曜日は19時まで延長利用可です。

(1時間あたりの延長料金=大ホール:11,800円 / 小ホール:2,700円 / 会議室:1,700円)

※ご予約の際には図書貸出券が必要です。

メールマガジンのご案内

日比谷図書文化館では館内の最新情報をお届けするメールマガジンを発行しています。配信ご希望のお客様は、右のQRコードまたは当館公式サイト「メルマガ・広報誌」のページよりお申し込みください。



図書フロア

現在行っている展示内容をご案内します。  
興味深い本が発見できるかもしれません。

2F ORANGE ZONE

オレンジゾーン -ビジネスとキャリアアップ-

■メイン展示 仕事セレクション『もしも東京出身のサラリーマンが東北で農業をはじめたら?』  
農業を始めたいと思ったとき、何をすればいいのか?  
日比谷一家の就農までを追いました。

■セクション展示 『大人女子の底力UP』  
『Lexis Nexis』『日比谷カレッジの学びを深める』

2F PURPLE ZONE

パープルゾーン -千代田、まちと歴史-

■メイン展示 『日比谷図書文化館が受け継いだ東京・千代田の蔵書群』  
絵双六、江戸東京古地図、江戸風俗誌などを展示します。

■セクション展示 『帝国劇場100年』『江戸切絵図展示』『舞台は江戸城!』

3F GREEN ZONE

グリーンゾーン -現代に生きるための情報-

■メイン展示 『日比谷図書館の歴史』  
旧・都立日比谷図書館の設立から現在までの歩みを紹介します。  
日比谷公園をつくった林学博士、本多静六氏のパネル展示も併設。

■セクション展示 『光に向かって』『世界のミステリー紀行』  
『科学×技術×情熱 ~不屈の探求者たち~』  
『防災』『宇宙へ』『心とからだにうれしい香り』  
『本から辿るrailroad』

3F BLUE ZONE

ブルーゾーン -創造(アート・文学-ひと)-

■アート支援コーナー フィンランド写真展『白夜の国からハニカミを~フィンランドの子どもとポストカード展~』

■メイン展示 『日比谷1957~社会・産業・ファッション』  
高度成長・百貨店・おもちゃ・バービー・帝国ホテル...  
つながりを読み解きます。

■セクション展示 『歌留多』『映像化された作品、映像化される作品』  
『LiteraryAward Part1.ちよだ文学賞』



access

- 都営三田線 「内幸町」徒歩3分
- 東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線 「霞ヶ関」徒歩5分

千代田区立  
日比谷図書文化館  
Hibiya Library & Museum  
http://hibiyal.jp

■お問合せ先: 日比谷図書文化館  
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4  
TEL: 代表 03-3502-3340  
図書総合カウンター 03-3502-3343  
開館時間: 10時~22時、土/~19時、日祝/~17時  
休館日: 毎月第3月曜日および年末年始  
(12月29日~1月3日)

ぽももも

pomone vol.3  
2012年1月号



知の探検。

大航海時代、コロンブスをはじめとした探検家たちは、遙かなる黄金の国ジパングを夢見て航海していました。  
2011年は震災や台風など大きな災害に見舞われましたが、人の絆や思いやり、日常生活の便利さなどの身近な「黄金」に気づかされた年でもあったのではないのでしょうか。  
当館では新年も「学び」という果てのない航海で、「知識」という黄金を求めの方々に応援してまいります。是非、ご利用ください。

※地図画像の詳細は中面「特別研究室ミニ通信」をご覧ください。

contents

特別展示室・貸出施設のご案内・メールマガジンのご案内  
日比谷カレッジ今月の講座・特別研究室ミニ通信  
図書フロアのご案内





### 日比谷カレッジ [2012年1・2月の講座]

■参加申込:電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合は、ご連絡ください。

1/6  
(金)

#### 千代田区民講座 母校の襷(たすき)をつなぐランナーたち!

大学時代の主力ランナーとして箱根駅伝に3回の出場を果たし中央大学の連覇に貢献、箱根駅伝のテレビ中継放送にて解説者を18年間連続で務める碓井哲雄氏に、箱根駅伝の魅力や人気の理由について語っていただきます。

日時:1月6日(金)18:30~20:00(18:00より受付)  
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
講師:碓井 哲雄(箱根駅伝テレビ中継放送解説者) 定員:60名 入場無料

1/8  
(日)

#### ことわおん 箏演奏グループ「和音」新春邦楽コンサート

箏や演奏曲の解説を交えながらバラエティーに富んだ曲目をお届けします。間近で聴く男性による箏三重奏は大迫力!日本の伝統芸能である邦楽の繊細で力強いサウンドをお楽しみください。



日時:1月8日(日)14:00~15:30(13:30より受付)  
出演:和音(菊池伸城、衣袋聖志、鈴木真一郎)  
曲目:伝統曲「春の海」、オリジナル曲「獅子の真の心」「雷来」、その他歌謡曲など  
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
定員:60名 入場料:2000円

1/14  
(土)ほか

#### 巨万の富を築いた男・本多静六の人生哲学(全3回) 第1回:日比谷公園を創った男 ~公園の中に図書館がある理由~

日本初の林学博士で、旧東京帝国大学教授であり、一代で億万長者となった本多静六氏。日比谷公園を設計・施工した人物です。莫大な富を社会に還元し続けた本多氏の人生哲学を3回にわたって語ります。

第1回:日比谷公園を創った男 ~公園の中に図書館がある理由~  
第2回:本多静六の金銭哲学 ~巨万の富の作り方とその使い方~  
第3回:本多静六の「アカマツ亡国論」 ~3.11から一年 高田松原と防災理念~  
日時:1月14日(土)、2月10日(土)14:00~15:30(13:30より受付)  
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
講師:遠山 益(お茶の水女子大学名誉教授 理学博士、本多静六氏の縁戚)  
定員:150名 参加料:各回1000円

1/17  
(火)ほか

#### 「まち」の活力を引き出すファシリテーター講座(全4回)

「まち」の強みを引き出し、未来を共創するアプローチを紹介します。企業などの組織開発にもすぐに応用可能。毎回、ファシリテーションのポイントを体験的に修得できます。



第1回:ポジティブ組織開発の紹介(欠点を追求する問題解決手法との違い)  
第2回:東京の強みを再発見する(一つの地域を多面的・多角的に見る)  
第3回:東京の未来を描くワーク(ビジョン化することが実現の秘訣)  
第4回:地域の活力を引き出す活動展開のポイント(具体的な行動計画の策定)  
日時:1月17日・24日・31日・2月7日(いずれも火)19:00~21:00(18:30より受付)  
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
講師:本間 正人(成人教育学博士・NPO学習学協会代表理事)  
定員:60名 参加料:20,000円(4回分)

1/18  
(水)ほか

#### 「編集力」をつけてしなやかに生きる ~溢れる情報の中で流されていませんか?(全3回)

情報が氾濫している現代、情報に流されてしまっていないか?「編集」というスキルを身につけて情報を取捨選択できるようにになれば、相手にわかりやすく情報を届けられ、女性としての魅力もアップするはずです。



第1回:自己分析から始める編集力入門  
(「何を伝えたいか」「どんな風に見せたいか」を考える)  
第2回:編集力をつけてコミュニケーション能力を上げる  
(自分の好きなものを他人の興味に合わせて紹介)  
第3回:日比谷図書文化館で編集力実践編  
(図書フロアで調査・編集・発表するグループワーク)  
日時:1月18日(水)、25日(水)、2月8日(水)19:00~21:00(18:45より受付)  
会場:4階 セミナールームA  
講師:石山 照実(小学館「美的」副編集長) 定員:24名 参加料:4500円(3回分)

1/19  
(木)ほか

#### 英語が苦手なビジネスパーソンのための 「聞き直り」英語術(全2回)

英語は所詮「道具」に過ぎません。「道具」は使いこなしてこそ意味があります。ビジネスに最低限必要となる「道具」の学習法を学び、また「道具」を実際に活用していきます。



第1回:「聞き直り」英語学習法  
(最低限の知識を身につける方法を学びます)  
※初回参加特典で全員に講師著書「グロービッシュ実践勉強法」を資料として贈呈  
第2回:「聞き直り」英語実践法(「書く」力を中心に第1回の内容を実践します)  
日時:1月19日(木)、2月2日(木)19:00~20:30(18:30より受付)  
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
講師:手島直樹(経営コンサルタント・インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)  
定員:60名 参加料:各回1500円

1/28  
(土)

#### イグ・ノーベル化学賞を受賞! (株)シームス社に聞く「にょい」の世界

他の誰もやりそうにないユーモアと独自性を兼ね備えた研究や開発に授与するイグ・ノーベル賞。2011年「耳の聞こえにくい方にわさびのにおいで火災を知らせる臭気発生装置」の開発で同化学賞を受賞した(株)シームス社に「にょい」での社会貢献、「にょい」ビジネスの可能性について伺います。



※「シームス社に聞いてみたいこと」募集中!申込時にお伝えください。  
日時:1月28日(土)14:00~15:00(13:30より受付)  
会場:4階 セミナールームA  
講師:下川千草(株式会社シームス 執行役員) 定員:24名 参加料:1000円

2/1  
(水)

#### ブックダイアログ ~本から対話を深めよう~

1冊の本を入りに、その著者を変えた対話の場を展開します。書籍の魅力が立体的に広がり、全く新しい学びと交流の場が生まれます。第1回のゲストはベストセラー「頭がいい人、悪い人の話し方」の著者で小論文指導の神様とも呼ばれる樋口裕一氏です。

日時:2月1日(水)19:00~21:00(18:30より受付) 会場:1階 ショップ&カフェ  
出演:樋口裕一(作家・翻訳家・大学教授)、西村勇也(ダイアログBar代表)  
定員:30名 参加料:2500円(ドリンク付)

2/4  
(土)

#### <世界の音楽> キルギスの伝統楽器コムズの調べ レクチャー&コンサート



美しい自然と豊かな歴史を持つキルギスについて大使からのご説明の後、キルギス伝統の弦楽器「コムズ」を演奏します。楽器を頭の上に持ち上げたり、縦にしたり、逆さにしたり、隣の人の楽器を弾いたり...豊かなパフォーマンスにもご注目ください!

日時:2月4日(土)14:00~15:30(13:30より受付)  
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
出演:リスベク・モルドガジエフ(在日キルギス共和国特命全權大使)  
ウメトバエウ・カリマン、石阪由美子、中尾美、吉野彰(コムズ演奏)  
定員:60名 参加料:1000円

2/3  
(金)

#### 聞く&質問シリーズ① 心を聞くコミュニケーション:「わもん」の世界

話を聞くことが、誰でもいつでもどこでも人間力を磨く修行になり、人間関係を飛躍的に改善していきます。日本一の天然コーチやぶちゃん(ちゃん)の秘密を解明します。

会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
出演:藪原 秀樹(株式会社代表・人材育成コンサルタント)、  
本間 正人(成人教育学博士・NPO学習学協会代表理事)  
定員:200名 参加料:2000円

2/16  
(木)

#### 聞く&質問シリーズ② 魔法の質問で引き出すやる気と可能性

「質問力」を向上させるトークセッション。質問する力は誰にも備わっています。ただ最大限に活用している人は少ないので、そのパワーを体感していただきます。

日時:2月16日(木)19:00~21:00(18:30より受付)  
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
出演:マツダミヒロ(質問家・「魔法の質問」主宰)、  
本間 正人(成人教育学博士・NPO学習学協会代表理事)  
定員:200名 参加料:2000円

### 特別研究室 ミニ通信

## 奇妙なかたちの日本

「東インドとその近隣の島々」(オルテリウス作 1570年)  
A.L.ハンフリー「装飾的古地図と海図」1920年刊(4階特別研究室蔵)



今号の表紙をかざる、奇妙な丸い形をした島「IAPAN」とは、日本のこと。大航海時代、黄金の島・ジパングについての地理情報は未だほとんど西洋に伝わっていませんでした。コロンブスはこんな形の日本を想像し知っていたのかも知れません。

このほか、特別研究室には世界地図から江戸東京の地図まで、様々な地図資料があります。ぜひ一度ご覧にお越しください。